# 会議録

| | |
|---|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和８年度第２回新城市若者議会 |
| 開 催 日 時 | 令和８年５月２６日（火）午後７時から午後９時まで |
| 開 催 場 所 | 新城市役所４階会議室 |
| 会 議 の 内 容 | 令和８年度第２回新城市若者議会<br>・アイデア発表<br>・アイデアについて意見交換<br>・部会メンバーの決定<br>・事務連絡 |

１　アイデア発表

事前にアイデアの募集を行い、８名からアイデアが挙がったため、それぞれの提案者が内容の発表を行った。ただし、戸塚琉愛市外委員に関しては当日欠席であったため、事務局からアイデアの説明を行った。

以下は、提案者から発表のあったアイデアの内容である。

| | |
|---|---|
| 原瀬彩<br>委員 | 中学生が高校生や大人と一緒に活躍できる場を作りたい。中学生は、技術の向上やその部活動への関心増大、高校生・大人は技術向上や新たな人間関係構築、コミュニケーション能力向上などにつながる。部活に入っていない中学生には農家の方や高校生と農業体験を行う機会をつくることで、積極性向上や新城の農業の認知度向上を見込める。 |
| 小林美月<br>委員 | 市内の小中高生にアンケートを取り、それをもとに出来ることを検討したい。（若者主体のイベント、草刈り等）<br>若者が楽しみながら自分の市について考えるイベントを開催したい。（新城クイズイベントなど）<br>新城に関心を持ってもらうことや、若者のやりたいことを実現することが大切だと思う。 |
| 日高愛母<br>委員 | サボテンを活用して地域活性化を行いたい。サボテンは生命力の強さから管理が簡単であること、食べられる品種があるため特産品になりうること、とげを持つため鳥獣被害の減少につながることから、地域課題の解決に役立つと考える。 |

| | |
|---|---|
| 富田圭亮<br>市外委員 | 若者がすべてを担う、地域活性化のイベントを行いたい。また、新城市の人口増加のために、イベントに限らず移住政策なども行いたい。<br>若者チャレンジ補助金制度の見直しを行いたい。 |
| 瀬野和奏<br>委員 | 友達と集まれる居場所をつくりたい。（飲食チェーン店やカラオケ店の誘致など）前年度に実施した若者へのアンケート結果からも、集まれる場所や遊べる場所がない旨の回答が数多く上がったため、この事業を行っていきたい。 |
| 梅田倫之助<br>委員 | まちなみ情報センター以外の施設にもフリーWi-Fiを設置したい。（つくで交流館等の支援施設など）<br>フリーWi-Fiを設置している施設情報をはじめ、市やまちの情報を掲載したマップを作りたい。 |
| 黒谷美空<br>委員 | 新城市の学生向け企業情報誌「Miraie」のウェブサイトを作りたい。具体的には、地域別・職種別でのアクセスを可能として、企業ページには企業の魅力や求人情報について掲載したサイトにしたいと考えている。<br>また、ウェブサイトの周知のための取り組みとして、電車内や駅等への広告、SNSを活用した宣伝を行いたい。 |
| 戸塚琉愛<br>市外委員 | 駅の待合室を楽しめるように活用したい。具体的には、内装を工夫したり、イベントを開催したりしたい。<br>静岡県浜松市の都田駅の取り組みが参考になると思う。 |

２　アイデアについて意見交換

８名の発表をもとに、各アイデアについて意見交換を行った。

以下は、意見交換後に各グループから共有・発表された内容である。

| | |
|---|---|
| Ａグループ | 「若者が自分らしくいられるまち」のアイデアについて意見交換を行った。具体的には、第７期に提案された「趣味活サイト」についての認知度が低いこと、また、飲食店誘致の前段階についての意見や、ウェブサイト版Miraieに関する周知ポスターの具体的な掲示場所についての話も出た。 |
| Ｂグループ | 「若者がともにつくるまち」のアイデアについて意見交換を行った。具体的には、第１０期に提案された「わきゃっぴ祭」や小中高生対象のアンケートについての話題が上がった。また、アンケートに若者の本音をぶつけることで、地域課題の解決につながるのではないかという意見が出た。 |
| Ｃグループ | 「若者にとって誇れるまち」「若者が暮らしやすいま |

| | |
|---|---|
| | ち」のアイデアについて意見交換を行った。具体的には、サボテンのPR方法や有教館高校のサボテンの所有状況、中部大学のサボテン研究について話し合った。また、Wi-Fiは有益であるという話題も上がった。 |

3　部会メンバーの決定

意見交換を踏まえ、今期の若者議会で担当するテーマを投票して決定した。

第１２期若者議会のテーマは、「若者にとって誇れるまち」、「若者がともにつくるまち」、「若者が自分らしくいられるまち」の３つに決定した。

また、各部会のメンバーは以下のとおり決定した。

| テーマ | 若者にとって誇れるまち | 若者がともにつくるまち | 若者が自分らしくいられるまち |
|---|---|---|---|
| メンバー | ・片山結翔委員<br>・保田莉瑚委員<br>・原瀬彩委員<br>・日髙愛母委員<br>・河合夏鈴委員<br>・髙柳萌那委員<br>・富田圭亮市外委員<br>・加藤廉メンター市民<br>・山本青空メンター職員<br>・酒井南メンター職員 | ・小林美月委員<br>・菅沼希望委員<br>・林茅咲委員<br>・今泉翔帆市外委員<br>・片桐萌絵市外委員<br>・梅田禅之助メンター市民<br>・長田花音メンター職員 | ・梅田倫之助委員<br>・大塚柚姫委員<br>・原将翔委員<br>・青木太洋委員<br>・瀬野和奏委員<br>・黒谷美空委員<br>・戸塚琉愛市外委員<br>・菅沼堅太メンター市民<br>・四ヶ所壮汰メンター市民<br>・石内輝メンター市民<br>・伊藤海斗メンター職員<br>・酒井脩人メンター職員 |